

合理的な安全確保を

# 防爆対策

可燃性ガスが滞留する恐れのある危険区域は、事故がなく安全に操業することが必須だ。そのため、事業者は換気などの措置を講じ（労働安全衛生規則第261条）、それでもガス濃度を改善できない場合、防爆構造電気機械器具（防爆機器）で防爆対策を行う（労働安全衛生規則第280条）。危険区域を精緻に区分することで、合理的な防爆対策に取り組むことができる。

## DEKRAサーティフィケーション・ジャパン

DEKRAサーティフィケーション・ジャパンの防爆事業部は生産現場の防爆対策および製品の防爆性能について、認証機関として幅広いサービスを提供している。国内外の防爆認証の試験・評価・認証発行サービスや国内外の製造拠点の防爆監査サービス、さらには作業者向けの個人認証サービス（IECEX CoPC）などを経験豊富な日本人技術者が対応する。

国内外の防爆認証の申請代行や、防爆製品の事前評価、製造、検査などに関するガイダンスなども行っており、グローバル防爆認証取得のためのワンストップサービスを提供していく。

## 防爆認証サービス



ATEX(欧州) / IECEx

JPEX(日本) 外国登録型式検定機関

INMETRO(ブラジル) 認証機関

DEKRAサーティフィケーション・ジャパン株式会社 防爆事業部

[www.dekra.co.jp](http://www.dekra.co.jp) / [Info.japan@dekra.com](mailto:Info.japan@dekra.com)

横浜市保土ヶ谷区神戸町134 YBPウエストタワー7F 045-331-4129  
東京都立川市曙町1-28-10 ウェストウイング7F 042-512-5783

